

80th

KURUME UNIVERSITY SINCE 1928

久留米大学は2008年に創立80周年を迎えます。

Kurume University Medical Center 久留米大学医療センター

News

2007.02

No.002



平成19年5月完成予想図

私たちの理念

心が通い、信頼される医療

私たちのめざす医療

- 1 皆さまの権利とプライバシーを尊重します。
- 2 十分な説明と同意のもとに、最新で安全な医療を行います。
- 3 地域に開かれた病院として、皆さまの健康と福祉の向上に努めます。
- 4 確かな医療技術と豊かな人間性を備えた医療人を育てます。

Contents

- 平成19年5月 外来棟オープンにむけて
- 診療科紹介 (小児科、リウマチ・膠原病センター)
- 看護部の業務・教育活動について
- 『ぬるぞう君』 実用新案取得!
- 外来診療一覧表

〈久留米大学医療センターホームページ〉

<http://iryo.kurume-u.ac.jp/>

久留米大学医療センター 〒839-0863 福岡県久留米市国分町155-1 TEL 0942-22-6111(代)

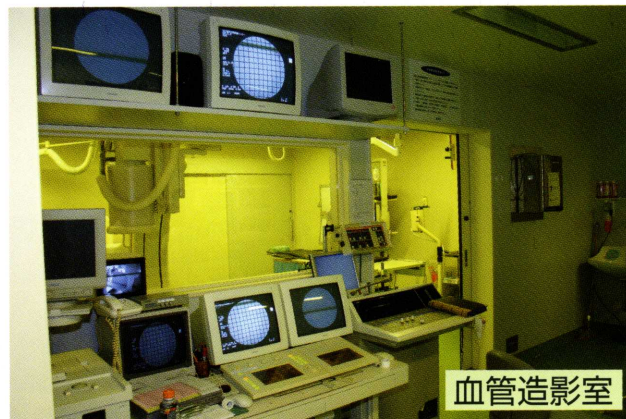
平成19年5月 新外来棟オープンについて

新外来棟は、画像センター等が入る1階及び手術室等がある2階の部分が第1期分としてすでに完成しています。ここに、現在の治療棟にある画像センターと臨床検査室が移転することとなり、その引っ越し作業が昨年末から始まりました。

画像センターの各種精密機器は調整に日数がかかるため、診療への影響が少ないように段階的に移転します。まずはじめに、血管造影室の移転が完了し、1月17日（水）から稼動を始めました。続いて、透視室及び一般撮影室の一部並びにMRI室が2月中旬に移転完了・稼動を始め、その他は2月中旬から移転作業を行い3月1日稼動予定となっています。また、治療棟2階の検査部門は2月19日（月）から新外来棟で業務を開始しました。



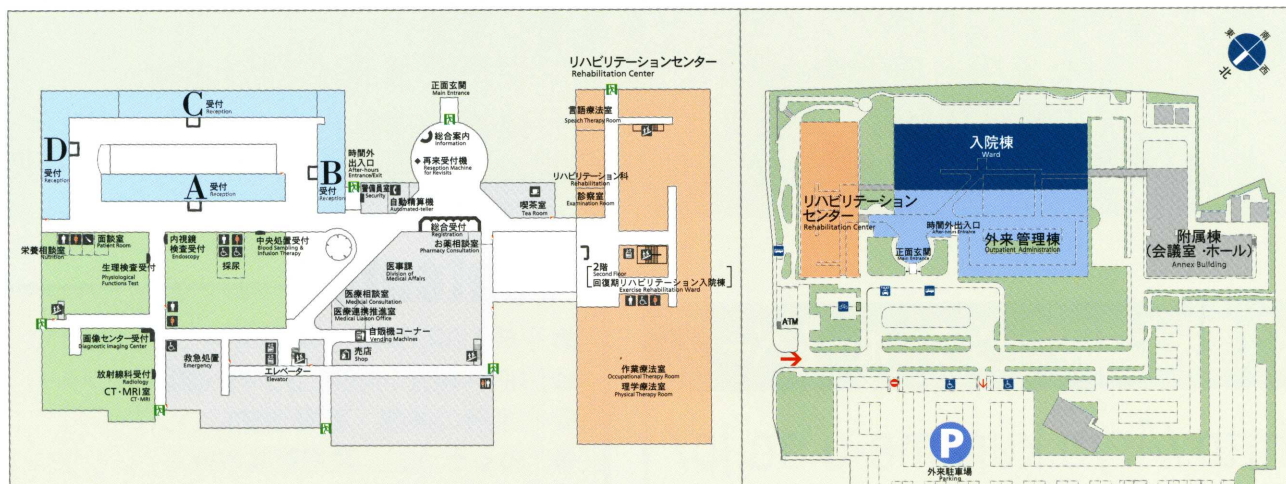
画像センター受付



血管造影室

さて、残る第2期分は完成に向けて着々と工事が進み、写真にあるようにほぼ全容が姿を現しました。まず目を引くのが、円筒形でガラス張りの正面玄関です。ここは病院の顔となる部分であり、その明るく開放的なフロアは最も印象に残ることでしょう。入って正面が総合受付、右手に進むと各診療科の外来診察室が並ぶこととなります。中庭を2箇所設けることにより、自然の光が届くよう配慮されています。竣工後は、外来診療部門、医事課、薬剤室等が移転し、5月初めにオープンする運びとなります。

オープンまで残すところ2ヶ月程となりました。3月に入ると、既存の建物のうち最も新外来棟に近い治療棟の解体作業が始まります。まだまだしばらくは工事の槌音が響くこととなりますが、教職員及び工事関係者等、一丸となってオープンに向けて取り組んでまいります。皆様へ、「心が通い、信頼される医療」を提供する新外来棟のオープンにご期待ください。



管理課建築係 寺崎 克也

診療科紹介（小児科）

科長 伊藤 雄平

○ひとに暖かな小児科を目指して

病気を持った子どもさん、ご家族の医療、心理、社会、経済的な面を含んだトータルケアができ、患者さんや家族のニーズに細かに応えられる、ひとに暖かな小児科を目指しています。そして、小児科医には笑顔がかかせません。具体的には①病気に悩んでいる子どもの状態や家族の都合にあわせた暖かなサポート、②病状や治療についてはできるだけわかりやすい言葉で納得できるまで説明、③健康増進のための地域活動、が合い言葉です。

○診療体制

外来は午前中の総合外来（風邪、喘息、肺炎、鼻炎など何でもオーケーです）、午後は専門外来としています。総合外来は午後でも可能ですが、あらかじめお電話ください。専門外来はすべて予約制とし、腎臓、アトピー、小児生活習慣病（肥満）、栄養／消化器、内分泌、育児支援（乳児健診）、よろず相談などを設けています。

入院棟は4人の大部屋をなくし、すべて個室か2ベッドでスペース的には余裕があります。入院で不安な子どもさんやご家族にもできるだけリラックスできるよう頑張りたいと思っています。紹介していただいた施設には結果や入退院をすぐに連絡できるようFAX通信を多用しています。土日の入院も可能です。

○夜間・休日診療体制

小児科医の数の関係で当直医はいません。しかし、平日は拘束医が必ず午後8時までは在院しており診察しています。それ以降、夜間10時までは携帯電話をもちご家族から連絡を受けられるようにしています。拘束医へ連絡をとる携帯電話番号(090-3329-6732)を書いた名詞サイズのカードを外来に用意しています。病院全体は休日、土日休診ですが、小児科は朝10時から12時は必ず小児科医が診察できるよう体制を整えています。その他の時間帯は拘束医の携帯へ連絡を取ってください。

○いつでもご意見を

皆様方のご意見をお待ちしております。皆様の忌憚ないご意見は私たち小児科医を成長させます。投書箱でも、電話でも、直接でもかまいません。よろしく願いいたします。



診療科紹介（リウマチ・膠原病センター）

科長 福田 孝昭

平成8年4月、久留米大学医療センターが250床から300床に増床した際に開設されました。診療の対象とする疾患は、発症頻度の高い（200人に1人）関節リウマチが中心となります。その他難病の指定を受けている各種膠原病さらには、代謝疾患である痛風性関節炎などです。

約1000人と、最も多く診療している関節リウマチは、未だその原因は不明で、関節痛・関節破壊変形が進行、日常生活に非常な困難をきたし、最終的には身体障害となる可能性が高い本当の意味で難病中の難病です。関節リウマチの診療に関しては、50年前は、診察室前には車椅子の患者であふれていたと表現されるぐらいでしたが、約20年前ごろより、有効といえる抗リウマチ剤が出始めました。日本では、欧米に比し薬剤が使用開始できるまで10年くらい遅れますが、現在では殆んど同じ薬剤が使用可能になりました。欧米でも基本となる中心薬剤はメソトレキサートですが、欧米に比しわが国では、最大投与量が約三分の一と制限がありますし、非常に有効なレフルノミドという薬剤についても、日本人にだけ重篤な副作用として間質性肺炎が起こるなど、困難を感じる点が多くあります。ただ従来からあった抗リウマチ剤は、臨床的には寛解を誘導できますが、関節の破壊を完全に抑えることは出来ませんでした。画期的な薬剤として生物学的製剤がこの数年使用可能になりました。これは、関節リウマチの病態に深く関与する、TNF- α というサイトカインの作用を抑えることが出来る薬剤です。有効率が高く、即効性であり、炎症を抑える作用が著明であると同時に、これまで不可能とされていた、関節の破壊を抑制できるどころか、症例によっては破壊の修復も可能であることが証明されています。我々のセンターでも多くの症例に使用し、画期的な効果が得られています。ただ、保険診療でも薬価が約50万円/年と高いため、誰でもこの恩恵に与れるわけはありませんし、結核の再燃・肺炎の発症など副作用も認められています。このような薬剤は、まだ使用施設に限定がありますし専門施設での使用が推奨されます。

関節リウマチの診療で最も大事なことは、できるだけ早く確実な診断を行い、早期から有効な抗リウマチ剤を使用することです。筑後地区での診療施設の中心として、また情報の発信基地としての責任を自覚しつつ、更なる発展を期しています。どうぞ気軽にご相談いただきたいと思います。



看護部の業務・教育活動について

地域の皆様、医療センターを日頃から利用して下さる方々、そして関係される方々に、当医療センター看護部が「看護の専門職」として目指すところと現状をお知らせし、さらに私どもの看護サービスの質が向上していけるようご意見をいただきたいと思ひます。

看護部は、6つの入院棟（300床）と外来（600名前後/日）と手術室（2300例/年）の8つの看護単位から構成される看護職員（看護師と看護助手）200名余の組織です。

入院棟には入院基本料10対1で看護師の配置を行い、看護提供は「継続受持ち看護方式」・「患者参画型の看護」を採用、入院時から退院後の生活も視野に入れて計画的に看護を提供できるよう努めております。

看護部の「理念」は、病院の理念に基づいて下記の通りとしています。

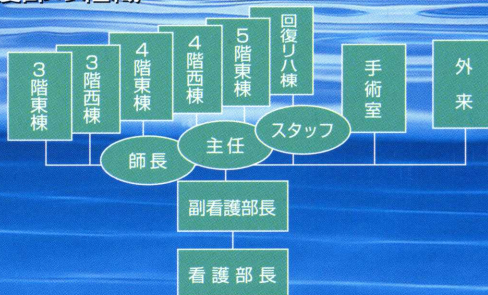
理念：

私たちは、皆様の人権と意思を尊重し、安全で思いやりのある看護を提供いたします。

方針：

1. 安全で質の高い看護の提供
2. 豊かな人間性のある看護の提供
3. 地域と連携した看護の提供
4. チーム医療の推進
5. 専門職業人としての自己研鑽

看護部の組織



この理念をもとに例年看護部・看護師長会で年度初めに活動方針を示します。これを受けて看護部の師長会・主任会・教育委員会・業務委員会・記録委員会・リスクマネジメント委員会・コンピュータ委員会・クリニカルパス委員会などがそれぞれに活動目標を掲げて一年間を計画的に活動しております。加えて各所属単位でも、看護職員個人においても同じように「目標管理」の考えを取り入れており、年度途中に組織や個人のお互いの進捗状況を確認しあい、また年度末には全体で一年の報告会を行っております。このサイクルがうまく循環することで私どもの看護サービスの質の向上が図れると考えます。

とは申しませんが、病院に寄せられる皆様からの「希望の声」のご意見を集約しますと、説明をもっとして欲しい、笑顔や優しい態度で接して、忙しいだろうけど小さいことにも気づいて、採血や注射など上手な技術を、何よりも安全に信頼できるように・・・などなど、貴重なご意見をたくさん頂いております。一人ひとりの看護師の看護実践の質の高さが求められています。“企業は人なり”といわれますように、看護実践の最前線に居る看護師の人づくりが基本になると考えています。

医療センターでは大学病院看護部とも連携しあって看護職の現任教育・キャリアアップに力を入れております。その主なものは新採用者の教育、看護過程の教育、看護研究の視点、倫理教育、後輩の指導の視点（プリセプターシップ）、臨地実習の学生指導の視点、リーダーシップ、看護管理などです。さらにWOC（創傷・ストーマ・失禁）看護、臨床実習指導者、オンコロジー（癌看護）ナースなどの専門分野の教育も計画実施し、「院内認定看護師」の育成も行っています。他にも、情報管理・院内感染予防・安全管理（リスクマネジメント）・褥瘡予防・栄養管理（NST活動）などの学習や研究会活動も盛んに行っています。このような職場環境や条件が整っていることが高く評価されていて、それによって、よりよい看護ケアを提供できるように専門職として努力し成長したいと看護師の新採用試験には応募者も多いようです。

5月には外来棟も完成し、さらに快適な受診・入院環境となります。今後とも御指導よろしくお願ひ致します。

看護部長：佐藤 和美



『ぬるぞう君』 実用新案取得！

皆さま、自助具という物をご存知ですか。自助具とは、日常生活を営むのに支障がある方々に対して、自力あるいは最小限の介助で動作が行なえるようにするための道具です。

私たちは、自分で足に軟膏を塗れない方を対象とした自助具を考案・作製し、平成18年9月に実用新案の登録を行いました。今回は、その自助具をご紹介します。

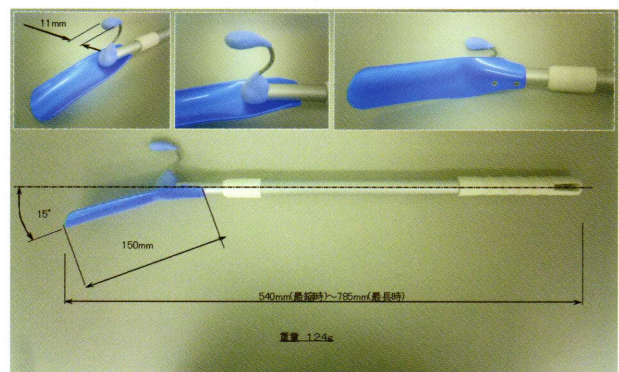
当センターの人工関節の手術には定評があり、昨年度は112名の方が人工股関節置換術を受けておられます。この手術で痛みが解消され歩行しやすい状態となりますが、手術後しばらくは、脱臼予防のために足をひねったり、しゃがみこんだりする動作は避けなければなりません。

一方、日本人口の4人に1人は水虫（足白癬）といわれ、人工股関節置換術を受けられた患者さまの中にも、水虫を罹患されている方がおられます。手術後は、自分で足に軟膏を塗ることが難しく、看護師が援助を行っていました。退院後はご家族の協力が必要となりますが、「家族には頼みにくい」「自分で塗りたい」との思いがあったり、中には一人暮らしで軟膏塗布の継続ができないという問題がありました。

そこで、脱臼することなく自力での軟膏塗布を可能とする自助具の作製に取り組みました。

考慮したこととしては、

- ①柄の長さが調節可能
- ②足趾の間や足の裏全体に塗布できる
- ③操作は容易で安全である
- ④耐久性に富む
- ⑤経済的である



の5点で、ホームセンターなどを回って伸縮棒や靴べら等の材料を探しました。作製の過程で長さや角度の調節を工夫し、同僚看護師に実験を行ったり、作業療法士の助言・協力を得て誕生したのが、軟膏塗布用自助具「ぬるぞう君」です。命名の由来はゾウに似ているからで、なかなか好評のようです。

完成後、患者さまに実際に使っていただいたところ、「自分で塗れるので便利」「簡単に洗えて清潔」などの感想をいただきました。多くの方に使っていただきたいのですが、現在は業務の合間に自主製作している状況であり、入院されている患者さま限定で実費での提供をしています。

今後も私たちは患者さまの声に耳を傾け、患者さまの自立を助け、患者さまのQOL（生活の質）の向上を目指した看護を行っていきたいと考えております。



看護部：

- ・中尾佐永子
- ・宮崎 博子
- ・草場 俊哉
- ・塚本 直子



外来診療一覽

診療科名	月	火	水	木	金
一般内科	中島 裕	草場 健	加地 正英	原田 晴仁	村島 史朗
内科	加地 正英	鮎川 竜佑	加地 正英	加地 正英	加地 正英
呼吸器科(午前) (午後)		古賀 丈晴			松本 久美
消化器科	中島 裕 工藤まいさ 原田 和徳	村島 史朗 田中 正俊	由谷 茂 原田 和徳	中島 裕 田中 正俊	村島 史朗 工藤まいさ
循環器科	池田 久雄 加藤 宏司 古賀 義則	池田 久雄 森田 博彦 草場 健	池田 久雄 加藤 宏司 古賀 義則	古木久美子 原田 晴仁 草場 健	原田 晴仁 森田 博彦 古賀 義則
脳卒中科	馬場 敦子	馬場 敦子	馬場 敦子	馬場 敦子	馬場 敦子
精神科(午前) (午後)	森 圭一郎 座親扶美江			小城 公宏	
小児科	伊藤 雄平 山岡 俊彦	牛島 高介 山岡 俊彦	伊藤 雄平 升永久美子	伊藤 雄平 牛島 高介 山岡 俊彦	伊藤 雄平 牛島 高介 山岡 俊彦
(専門外来)	腎 臓	腎 臓 内 分 泌	腎 臓	ア ト ビ ー 消化器・肝臓	腎 臓 小児生活習慣病
外科	孝富士喜久生 中川 元典	二又 泰彦	孝富士喜久生 藤木 啓	亀井 英樹	村上 直孝
整形外科	樋口富士男 後藤 昌史 伊藤 伸一 石橋裕美子	後藤 昌史 14:00~16:00 専門外来予約のみ 金澤 武利	樋口富士男 伊藤 伸一	午前休診 後藤 昌史 14:00~16:00 専門外来予約のみ	樋口富士男 〔リハビリ棟〕 金澤 武利 手術により変更あり
リウマチ・ 膠原病センター	福田 孝昭	福田 孝昭 後藤 明子	後藤 明子	福田 孝昭 後藤 明子	福田 孝昭 後藤 明子
リハビリテーション科	梅津 祐一 名護 健	梅津 祐一 (交代医)	志波 直人 梅津 祐一 松瀬 博夫	梅津 祐一 名護 健	名護 健
皮膚科	西岡 昭二	西岡 昭二	西岡 昭二	西岡 昭二	西岡 昭二
泌尿器科(午前のみ)	(交代医)		(交代医)		(交代医)
産婦人科	上妻 益隆	上妻 益隆	(交代医)	上妻 益隆	上妻 益隆
眼 科	渡邊 志穂	渡邊 志穂	渡邊 志穂 斜弱外来AM・PM	渡邊 志穂 斜弱外来PMのみ	渡邊 志穂
耳鼻咽喉科 (特殊診療)	菊池 淳	菊池 淳	菊池 淳	菊池 淳	菊池 淳 補聴器
放射線科 (画像診断)	小島 和行	小島 和行	小島 和行	小島 和行	小島 和行
麻酔科 (ペインクリニック)					大石 一男

平成19年2月16日現在

※交代医は大学病院からの派遣医師です。

編集後記

毎年この時期はインフルエンザに感染しないように、手洗い・うがいをこまめに行ったり、マスクを着用したり、と予防に取り組んでいることと思います。“予防”といえば、生活習慣病が話題となっていますが、その中でも喫煙は健康を阻害する要因として挙げられており、法律でも人が多く集まる施設では他人のたばこの煙を吸わされることを防止するための環境整備を進めています。皆さまの健康を守る医療施設として、当院では3月1日から院内での禁煙を実施することになりました。それに先がけ、1月4日から売店でこの販売も中止しております。

さて、次号(第3号)が発行される頃には、昨年5月の入院棟のオープンに続き、外来棟もオープンし、新しい医療センターになっていることと思います。今後も皆さまにご満足いただけるように努めてまいりますので、更なるご協力とご助言をお願いいたします。

(リハビリテーションセンター 池田香苗)